

環境経営レポート



有限会社トライテック

2022 年度 第 28 期

(対象期間 2022 年8月1日～ 2023 年7月31日)



目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

ごあいさつ

(有)トライテックは、加西市にある1996年創造の測量会社です。30年近く測量に携わってきた技術力を強みに、防災減災などの国土強靱化、災害時の緊急対策などの測量・設計、道路河川の測量、地籍調査を行ってまいりました。
地域の皆様が安心して暮らせるよう、測量分野を通して、貢献してまいります。

環境経営方針

当社は「個々の技術を生かし社会資本整備の一翼を担う。」という社是に基づき、誠実で堅実な経営と、不断の改善を通じて、顧客と社会から信頼され、満足していただける品質を提供することを品質方針とし、環境に配慮できる企業として、全社一丸となって環境経営システムを構築・運用し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制等及び社内ルールを遵守します。
2. エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、業務効率化による勤務時間の適正化及び汚染の予防について継続的改善に努めます。
3. 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減(電力の使用量の削減及び燃費の向上)に努めます。
 - ② 廃棄物排出量削減(分別の徹底と排出量の削減)に努めます。
 - ③ 上水使用量の削減に努めます。
 - ④ 測量情報のデジタル化を提案、推奨に努めます。
4. この環境経営方針は当社全従業員に周知するとともに、社会にも公開します。



制定日：2010年9月24日

代表取締役 泰永 鋭雄

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

有限会社トライテック
代表取締役 泰永 鋭雄

(2) 所在地

本 社 〒679-0107 兵庫県加西市玉野町857番地
西脇分室 〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町1073番4
佐用支店 〒679-5133 兵庫県佐用郡佐用町三日月1213番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 泰永 鋭雄
担当者 総務 泰永 芳世
TEL : 0790-27-8638 FAX : 0790-27-8639
メールアドレス : trytec@oak.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

測量業

(5) 事業の規模

項目	2020年	2021年	2022年 (4月～7月)	2022年～2023年 (8月～7月)
売上高 百万円	72.7 百万円	121.6 百万円	1.6 百万円	101.5 百万円
従業員 名	8 名	8 名	8 名	8 名
延べ床面積 m ²	129.2 m ²	129.2 m ²	129.2 m ²	129.2 m ²

(6) 事業年度

8 月 1 日 ～ 7 月 31 日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 有限会社トライテック
対象事業所 : 本 社 2名 2023認証・登録
佐用支店 2名 2023認証・登録
西脇分室 4名 2023認証・登録

活動 : 測量業

□ 事業の紹介

■ 地上測量

測量は防災、またインフラ整備や維持管理等、地域の皆様が安全に生活を行う上で不可欠なものとなります。弊社では20年以上にわたり測量をおこなってきたプロフェッショナルが在籍し、経験とノウハウに基づいた、迅速かつ正確な測量を実現します。

■ 地籍調査

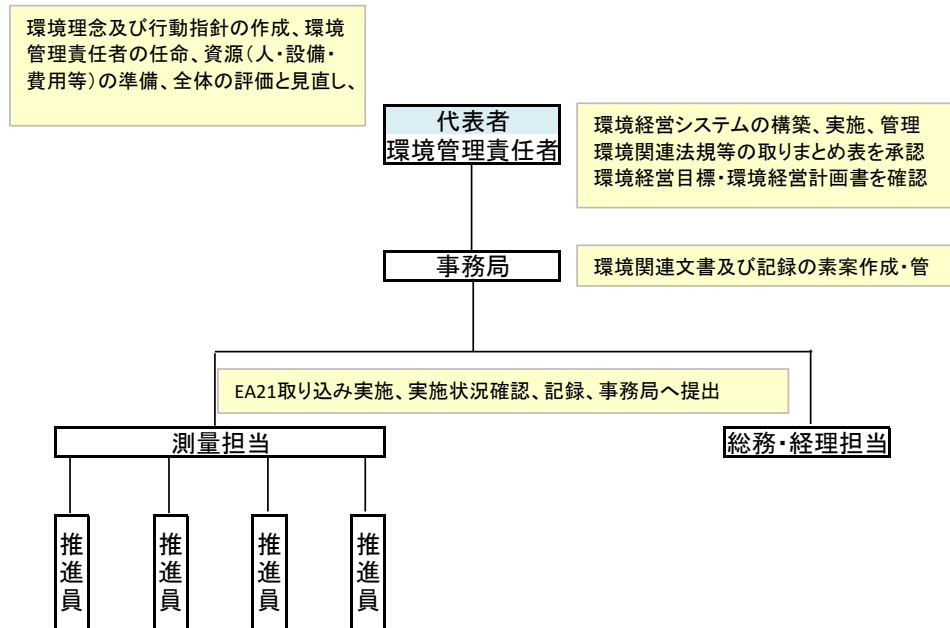
大規模災害の発生に備え、円滑な防災・減災事業の実施や迅速な復旧・創造的な復興につなげる為の、境界の明確化を目的とする地籍調査の分野において、用地測量で培ったノウハウと経験を活かした地籍調査分野での様々な業務実績があります。

■ 三次元測量

あつてはならない事ですが、自然災害の頻発化・甚大化により地域における防災の重要性が高まっています。弊社では、従来からの測量のノウハウにICT技術を組み合わせた最新設備を導入し、三次元測量を行っています。安心した暮らしが出来る社会資本基盤を迅速に創れるよう、精緻な測量と工期の短縮を実現いたします。

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2022年6月13日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度 4月～7月	2022年度 8月～7月
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	25,117	22,834	6,184	22,810
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	21,719	19,338	5,153	19,784
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	3,398	3,496	1,031	3,026
廃棄物排出量	k g	463	190	63	134
一般廃棄物排出量	k g	46	54	18	37
再資源化量	k g	417	136	45	98
上水使用量	m ³	33	32	8	30

※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)

※2022年度のデータは期初から期の途中まで

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		2018年度 実績 (基準年度)	2022年度 2022.8～2023.7		評 価	2023年度 2023.8～2024.7	2024年度 2024.8～2025.7
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
CO2 総排出量	kg-CO2	22,013	22,013	22,810	×	22,013	22,013
電力使用量							
使用量	kWh	8,485	8,141	7,239	○	8,099	8,056
削減率	%	—	2.0	1.17	○	2.5	2.5
CO2 排出量 (注1)	kg-CO2	3,472	3,403	3,026	○	3,385	3,385
ガソリン自動車の燃費							
使用量	L	8,097	—	8,089	○	—	—
燃費の改善	km/ℓ	16.2	16.4	16.9	×	16.5	16.5
燃費アップ率	%	(2019年度)	1.5	0.96	○	2.0	2.0
CO2 排出量	kg-CO2	18,785	—	18,766	○	—	—
一般廃棄物の分別・削減							
分別の徹底活動 分別・削減	%	—	100	100	○	100	100
紙資源投入量の削減							
コピー用紙 使用量	kg	152	152	161	×	152	152
受注仕様チェックリスト 3日以内提出	%	—	100	100	○	100	100
水資源の節約							
上水使用量	m ³	42	38	30	○	34	34
削減率 (基準年度比)	%	—	10.0	1.40	○	12.5	12.5
測量情報のデジタル化							
デジタル化提案件数 (受注件数全数)	件	65	受注件数全数	48	○	受注件数全数	受注件数全数
業務の効率化							
ICTによる業務の効率化	件	—	1	0	○	1	1

(注1)「電力の二酸化炭素排出係数」について、比較検証のため全て2017年度の電気事業者別CO2排出係数(関西電力㈱CO2排出係数「調整後」)0.418(kg-CO2/kWh)を使用して算出しています。

(注2)その他当社では化学物質の使用実績はありません。

(注3)紙資源投入量の削減でコピー用紙購入量のデータを使用量に変更しました。

(注4)一般廃棄物の分別・削減の活動は、「環境経営目標及び環境経営計画と進捗管理表」に基づいています。

(注5)廃棄物は、事業系一般廃棄物(0.2t未満)だけで産業廃棄物はありません。

* 電力使用量の目標値について、2018年基準年度とし、2020年度以降は2020年実績の0.5%減を目標値としています

* 燃費の改善のデータは、2019年度実績を基準とし、0.5%向上を目標値としています

* 上水使用量のデータは、2018年度基準年度とし、2019年度以降2.5%減を目標値としています。

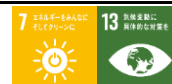
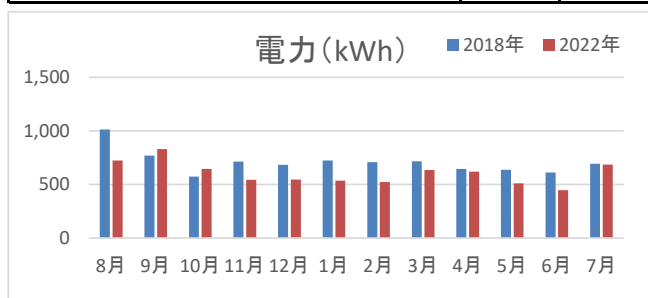
* 事業年度の決算月を変更した為、実績値のみを記載しています。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

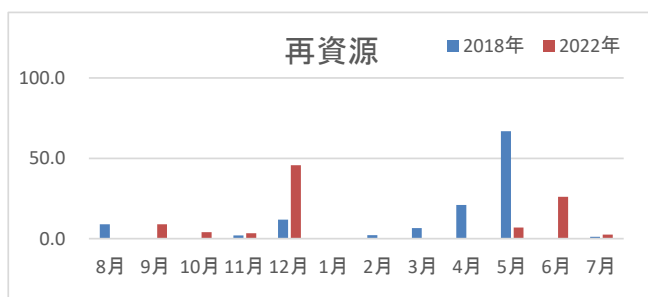
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①冷房:室温28℃ 暖房:室温20℃	○	作業量の増減により電力使用量も増減するが、全体的に電力使用量削減活動が定着しているため、この調子で削減活動を継続する。
②エアコン・石油ファンヒーターのフィルター清掃1回/月	○	
③冷房時遮光カーテンを閉める	○	
④部分消灯	○	
⑤不使用時消灯(パソコン含む)	○	
⑥退社時は元電源を切る	○	
⑦節電シールの貼り付け	○	
⑧実施監視パトロール4回以上/月	○	



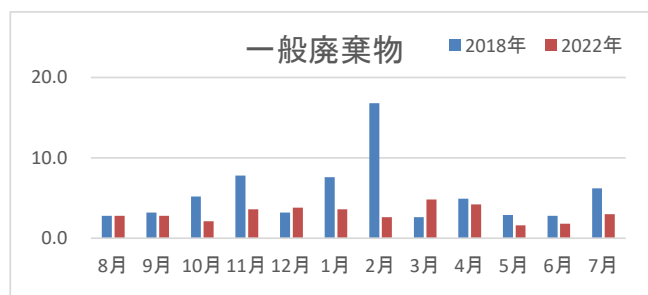
電力	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	1,014	769	573	714	683	723	707	717	644	636	612	693
2022年	724	829	644	542	546	535	524	635	620	509	446	685

紙資源投入量の削減活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①印刷、コピー用紙の両面刷り	○	仕事の受注状況及び工期により、紙資源投入量は左右される。使用量の増減だけにとらわれず、削減活動を守り、継続する。
②ミス・廃コピー用紙の裏面利用	○	
③コピー対象物・枚数の事前確認	○	
④上記注意事項をコピー機の近くに貼り付	○	
⑤コピー対象文書の見直し(廃止・IT化)	○	
⑥受注時、測量作業チェックリストの記入	○	
⑦実施状況確認改以上/月	○	



再資源	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	9.0	0.0	0.4	2.0	11.8	0.0	2.2	6.6	20.9	66.9	0.0	1.2
2022年	0.0	9.0	4.0	3.4	45.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	26.0	2.6

一般廃棄物の分別	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①分別対象廃棄物を決める	○	活動は定着した。 このまま活動を継続実行する。
②分別表示をして分別を徹底する	○	
③購入先に簡易包装・返却を依頼する	○	
④実施状況確認4回以上/月	○	

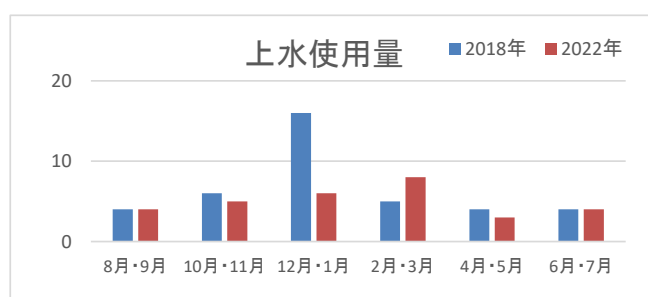


一般廃棄物	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	2.8	3.2	5.2	7.8	3.2	7.6	16.8	2.6	4.9	2.9	2.8	6.2
2022年	2.8	2.8	2.1	3.6	3.8	3.6	2.6	4.8	4.2	1.6	1.8	3.0

測量情報のデジタル化提案	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①客先に受注物件の全てにおいてデジタル納品を提案していく	○	発注元の要望が第一である。提案は継続するがデジタル納品のみにとどまる事は発注状況が変わらない限りない。今後も根気よく提案を続ける。



上水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①節電コマの設置	○	作業状況により、使用量は変化するが節水活動は定着しており、使用量は削減できている。今後も活動を継続する。
②節水シールの貼り付け	○	
③消音装置を設置する	○	
④出しっぱなしにしない	○	
⑤洗浄の際、洗剤を適正使用する	○	
⑥実施状況確認4回以上/月	○	

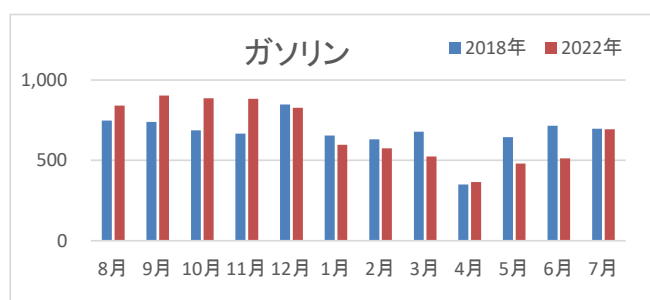


	8月・9月	10月・11月	12月・1月	2月・3月	4月・5月	6月・7月
2018年	4	6	16	5	4	4
2022年	4	5	6	8	3	4

業務の効率化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①ICTによる業務の効率化	○	ICTのみの受注がなかったが、従来型の作業に3次元スキャナーを活用して、従来より作業効率を上げた。積極的にICTに取り組んで行く。



自動車燃費アップ	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①運転日報を記録する	○	ガソリンの使用量は、業務実施場所により変動するが、エコドライブ活動は定着し、燃費向上に努めている。次年度も引き続き、エコドライブに努める。
②運転日報1回/月点検	○	



ガソリン	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2018年	748	740	686	667	848	655	631	678	349	645	716	697
2022年	841	904	886	884	827	597	575	524	365	480	512	693

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される要求事項	遵守評価
1. 廃棄物処理法	一般廃棄物の処理	遵守
2. 家電リサイクル法	廃家電製品の処理	遵守
3. 小型家電リサイクル法	小型家電製品の処理	遵守
4. 資源有効利用促進法	業務用廃パソコンの処理	遵守
5. 自動車リサイクル法	使用済み自動車の処理	遵守
6. 自動車の運行に関する条例（加西）	アイドリングストップ等	遵守

- ・当社において定期的に実施する上記遵守評価の結果、環境関連法規等への違反並びに訴訟はありませんでした。
- ・なお、関係当局からの違反の指摘は過去3年間ありません。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022/9/5	■実施場所 西脇分室
■参加者： 泰永鋭雄、小倉雅宣、繁田嘉津也、藤田秀樹、正中良作、藤原功充、泰永芳世	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 ・緊急事態手順の説明 ・避難訓練の実施 ・消火器設置場所の確認 ・駐車場での社屋火災を想定した使用方法についての講習 ・緊急持ち出し品の内容確認（手提げ金庫、通帳、印鑑、パソコンのバックアップ用ハードディスク） ・ファンヒーターの給油方法について確認	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
緊急事態の手順等を再度確認し、もしもの時に備えるのが重要である。引き続き手順書を遵守する。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 交通事故の発生	
■実施日： 2022/9/5	■実施場所 西脇分室
■参加者： 泰永鋭雄、小倉雅宣、繁田嘉津也、藤田秀樹、正中良作、藤原功充、泰永芳世	
■実施内容： ・緊急事態手順書の確認 ・緊急時連絡カードの確認 ・「安全運転の心得」「エコドライブ10のすすめ」の確認 ・二酸化炭素削減の為に乗車前点検	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
ほぼ毎日車を使用するので事故等に遭遇する可能性が高い。もしもの時には冷静に手順書に従い行動する。引き続き手順書を遵守する。	
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年8月10日

環境経営方	： 特に変更の必要なし。
環境経営目標	： 自動車燃費の向上に関しては、車の入れ替えにより目標値、計画値の設定が意味をなさなくなっている。目標値は、現状維持以上とするが、省エネ活動を徹底する。
環境経営計画	： 決算日変更に伴う対象期間の変更。
実施体制	： 変更なし
その他	： 三次元スキャナー、及びドローンを導入し、三次元データの利活用に取り組んでいる。三次元データでの納品実績はないが、三次元スキャナーのデータを従来型のデータに取り込み、生産性の向上に努めた。引き続き三次元データの利活用を目指す。 事業継承の為に新しい人材確保、新器材の有効活用による働き方改革を目指す。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり